

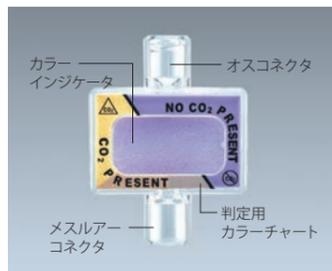


カタログ番号	製品名	包装単位
777702E	コンファーム・ナウ	10セット/箱

再使用禁止

原理

経腸栄養チューブを経鼻、又は経口で挿入する際、本品のオスコネクタを経腸栄養カテーテルに取り付けて、チューブ先端側の気体を本品のメスルアーコネクタに取り付けたふいごで吸引し、CO₂ディテクタ内に通します。カラーインジケータは試薬を含んでおりますので、患者の気管内に存在する二酸化炭素(CO₂)と反応して紫色(バイオレット)から黄色(イエロー)に色調が変化します。窓から見えるカラーインジケータの色調変化を窓周囲の判定用カラーチャートと比較することで、二酸化炭素(CO₂)の有無を確かめ、誤って気管内へ挿入されていないか確認します。なお、色調変化は可逆性でありCO₂ディテクタ内の二酸化炭素(CO₂)を除去することにより、初回よりやや明るい紫色(バイオレット)に戻るため、開封後約2時間以内に10回以内であれば同一患者に限り、繰り返して使用は可能です。



使用上の注意

- ・再使用禁止です。使用後は破棄し、再滅菌したり再使用しないでください。
- ・同一患者で使用してください。複数の患者に使用しないでください。
- ・気管チューブの挿管位置の確認補助として使用しないでください。
- ・トリクロルエチレン又はクロロフォルム麻酔剤の使用下での使用禁止です(化学的相互作用により本品の精度に影響がでるため)。
- ・本品を医師の指示以外で使用しないでください。
- ・本品と併用する(特に接続する)医療機器に関しては、その医療機器に付属の添付文書・取扱説明書を必ず参照してください。
- ・パッケージの気密性に問題が見つかった場合は使用しないでください。必ず使用前に、パッケージ及び製品(接合部等)に亀裂、破損がないか確認して、異常が認められた場合は、製品を使用しないでください。
- ・本品は、患者監視装置の代わりとなる製品ではありません。また、経腸栄養チューブの挿入位置を確認する唯一の指標とみなす製品ではありません。
- ・本品は、院内規定の手順に従い、廃棄してください。

一般的名称 : 呼気ガスディテクタ
販売名 : コンファーム・ナウ
医療機器届出番号 : 22B1X00007KD003A
クラス分類 : I 一般医療機器

Cardinal Healthは、Global Enteral Device Supplier Association (GEDSA) の会員です。GEDSAは、患者の安全性を高めることを目的とした医療機器用チューブコネクタの国際規格の導入を支援するために設立されました。ENFit™はGEDSAの商標です。

©2019 Cardinal Health. All Rights Reserved.
CARDINAL HEALTH、Cardinal Healthロゴ、コンファーム・ナウ及びKANGAROOはCardinal Healthの商標又は登録商標です。



お問い合わせ先
カーディナルヘルス株式会社
Tel : 0120-917-205
cardinalhealth.jp

ct-ef-conf
2306.ODP.es



経腸栄養の 安全をサポート

Kangaroo™ コンファーム・ナウ™

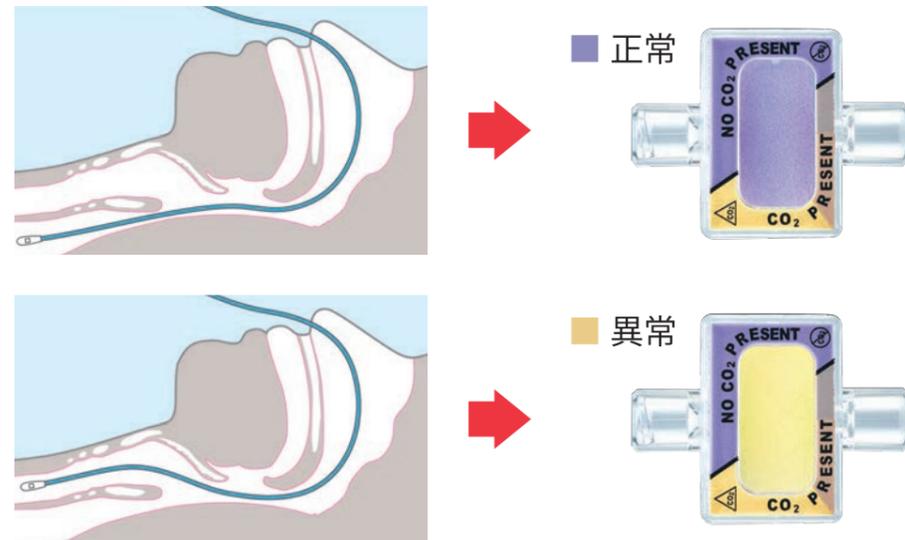
ENFit®



経管(経腸)栄養をより安全に進め、 医療事故の防止をサポートします。



挿入時のCO₂ディテクタの色変化



カテーテルの正常な挿入をひと目で確認できます。

「コンファーム・ナウ」は、鼻や口から挿入する経腸栄養チューブの正常な挿入をひと目で確認できる検査機器です。経腸栄養時の医療事故の防止をサポートします。

CO₂に反応し紫色→黄色に変化、気管への誤挿入を示します。

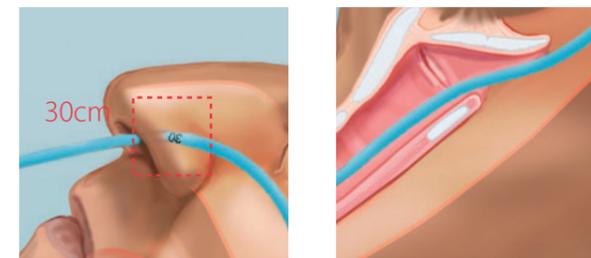
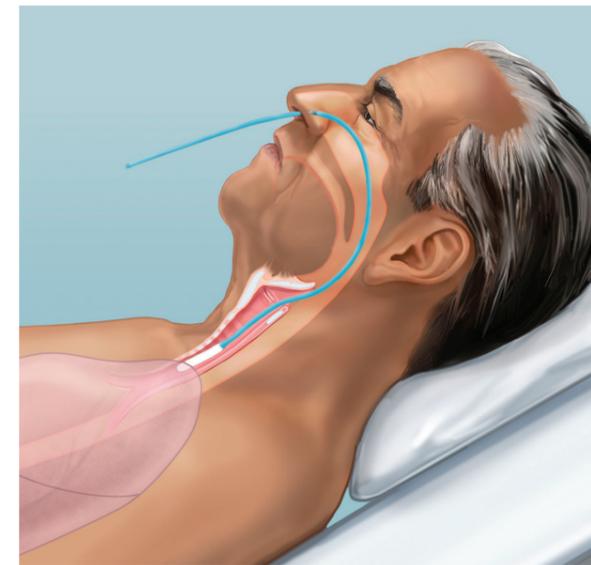
カテーテルが気管へ誤挿入された場合、「コンファーム・ナウ」のCO₂ディテクタが、患者の呼気中に含まれる二酸化炭素に反応して紫色から黄色に変化。わずか数秒間でスピーディな安全確認が行えます。

シンプルな操作で特別な設備は不要です。

「コンファーム・ナウ」は、経腸栄養チューブに取り付けるだけで、すぐにご使用頂けます。複雑な操作や特別な設備や専門技術は不要です。

約30cm挿入した時点で、 安全な挿入を確認します。

「コンファーム・ナウ」は、経腸栄養チューブにあらかじめ取り付けられた後、チューブを30cm前後挿入した時点で使用し、正常な挿入を確認します。ゆっくりと付属のふいごを押して離し、経腸栄養チューブからCO₂ディテクタに気体を通して色の変化を観察します。黄色を呈した場合は、患者の気管に誤挿入されていることが予想されます。速やかに経腸栄養チューブを抜去し、適切な対処を行ってください。



使用方法

※ ご使用の際は、必ず製品に付属の添付文書をよくお読みの上、正しくお使い下さい。



1. 本品のオスコネクタを
経腸栄養チューブにしっかり接続します。



2. 本品のメスルアーコネクタに、
別袋のふいごをしっかりと接続します。



3. チューブを約30cm挿入後、ふいごを押して空気を送り込んで下さい。その後、ゆっくりとふいごを放してチューブからCO₂ディテクタに気体を通します。



4. 色の変化が認められない場合、経腸栄養チューブの挿入を進めて、経腸栄養チューブが適切な位置に挿入されたら、**本品で再度検知を行ってください**。その後、院内で定められた手順に従ってチューブが適切に挿入されていることを確認してください。CO₂ディテクタの色が黄色に変化した場合は、**二酸化炭素が存在することを表示しています**。速やかに患者からチューブを抜去してください。